神歯連盟 NEWS

神奈川県歯科医師連盟

第107号

平成28年５月１日　発行

○発行人:富田 篤　○編集人:森 洋行　○委員:嶋田 潤一･鈴木 雄一･飛田 暁　◎045(681)2172

目次

第34回評議員会……１～３頁
平成27年度幹事DM合同会議 ……４～５頁
デンタルミーティングINかながわ……６～７頁
「一灯」……８頁

平成28年度予算案可決

―神奈川県歯科医師連盟　平成27年度　第34回評議員会―

平成28年３月10日（木）県歯会館・大会議室にて第34回評議員会が行われた。開会を前に点呼にて、定数75名のところ、出席者73名、欠席者２名で本会議が成立することが確認された。宮坂副会長が開会の挨拶をした後、議事録署名人に薮内貴章評議員（藤沢市）と阿部智彦評議員（旭区）が選定された。

挨拶する富田連盟会長

会長挨拶において富田会長は、「昨年は日歯連盟事件で先生方に、ご心配ご迷惑をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。33地域歯科医師会に連盟役員を手分けし、事件の報告、そしてお詫びのため地域を回らせていただきました。貴重な時間をありがとうございました。日歯連盟の事件の責任は、都道府県の連盟の責任もあると私は思っております。

日歯連盟高橋会長より、今月の末までには第１回目の公判が開かれるであろうと聞いており、二度とこうした嫌疑をかけられないよう、改善策を講じつつあります。

又、日歯連盟組織刷新委員会が設置され、神奈川県から委員７名中３名の委員が頑張っており、コンプライアンスについて６月の評議員会までに答申する予定であります。

さて本日の評議員会は次年度本連盟の28年度の事業、並びに予算等をご審議いただき、その後、次期参議院選挙選の対応について、十分ご協議いただきたく思います。

今後の神奈川県歯科医師連盟の姿勢そして歯科界を考え、対応を決定したいと存じます」と挨拶された。

鈴木駿介県歯会長は、「今次の改定で大幅な下落が予想される中、プラス0.61％で決着した。通則の見直しや新しい技術の導入、あまり使われていない技術の整理等多くの知恵を感じる改定である。これは連盟の力が大きかったからだと評価している」と話された。

厚生労働委員長の三原じゅん子議員

その後、三原じゅん子参議院議員から「各種団体がある中で一番多くの会合に出させていただいているのが歯科医師会で、いつもお世話に

なっております。現在、参議院厚生労働委員会の委員長を務めさせていただいております。神奈川に住んでいるということもあって党本部にお願いし、神奈川から出馬することになり、党公認もいただきました。ぜひ皆様にいままで以上のご指導を賜って、皆様の力になることができるような議員に育てていただきたい。島村大先生、石井みどり先生と手を携えて精いっぱい頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます」と力強くご挨拶された。

報告では小泉常務理事が庶務及び事業報告を行った。その中で逝去会員に対して評議員会の名のもとに黙とうを行った。宮坂副会長は組織対策委員会に関する資料を説明し、「今考える歯科の持つ政治力と成果」「歯科医師連盟活動一覧」**（三頁参照）**について説明した。

最後に、島村大参議院議員からは、「税制改正では事業税と４段階の特措法は死守できた、904億円の基金について県には入ってきているが行政とやり取りして活用してほしい。今次改定では点数配分において在宅に力が入っている。か強診* に対応できる体制を診療室に整えていくことも考えていただきたい。指導大綱について行政側の一方的な考えでいいとは厚労省も思っていないので、歯科医師会自身が厳しく律していくことも大事である」と話された。

国会報告をする島村大議員

＊【解説】か強診（かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所）：従来の歯援診と外来環の両施設基準を満たす歯科診療所に対し、未届け診療所よりも高点数を算定できる施設基準。11項目のハードルをクリアしなければならない点と一物二価、包括化（丸め）の問題も。

続いて議事に入り、

第１号議案　神奈川県歯科医師連盟平成28年度事業計画（案）に関する件を鶴岡理事長が説明し、挙手多数にて可決承認された。

第２号議案　神奈川県歯科医師連盟平成28年度会費賦課並びに収納方法に関する件

第３号議案　神奈川県歯科医師連盟一般会計平成28年度収入支出予算（案）に関する件

檀上常務理事が説明し、ともに可決承認された。

次の協議では、参議院議員選挙の対応について鶴岡理事長が説明し、①本連盟の政党支援の基本方針について、本連盟は政権政党である自由民主党および公明党を支援する。②本連盟の推薦予定者について、神奈川選挙区では三原じゅん子氏（自民党公認）、全国比例区では山田宏氏（自民党公認）を重点候補とし、自見はなこ氏、藤井もとゆき氏も予定している。と説明した。

その後、数名の評議員より活発な意見がでたが、現職の西村まさみ参議院議員（現･民進党）の件については富田会長が「県歯連盟は日歯連盟の下部組織なので上からの指示に従うのが本来の形。以前は時の政権政党である民主党（現･民進党）の候補を推した。政権を離れた今も歯科のために働いていただいている。

又、医療連携も大切なので、医師会から推薦する自見はなこ氏、薬剤師会から推薦する藤井もとゆき氏からも推薦依頼が来ており一本に絞ることが難しい。結論としては先生方の志にお任せしたい」と述べた。

その他として、檀上常務理事から、補助金を出すので、各地域でも是非、デンタルミーティングを開催してほしい旨を説明した。

最後に、閉会を森副会長が行い、「つつがなく議案が承認されありがとうございました。事業計画に則り事業を遂行していく所存ですので、先生方のご協力もよろしくお願いします」と述べ、評議員会は散会した。

歯科医師連盟活動一覧

《国家レベルで働く連盟活動》

●安すぎる保険診療報酬の適正化
（診療報酬改定率0.61％アップ、今回も医科の改定率0.56％の1.1倍を死守）
●所得税軽減税率（租税特別措置法第26条）の存続
（廃止されれば139万円（診療報酬が2800万円の場合）の税負担増）
●事業税非課税の存続
●消費税損税の対策
●国会議員との緊密な連携をとり歯科問題の解決を図る
（厚労省の中の歯科口腔保健推進室が訓令室へと格上げ）
（文科省に歯科医を１名増員）
（歯科衛生士法改正での調整）
●個別指導数の減少を実現
（神奈川県における高点数個別指導の対象者が、昨年度半減）
●歯科医師の裁量権確保の為に働く

《県歯科医師会のために貢献している本連盟活動》

●在宅医療基金（904億基金）による在宅歯科診療所設備整備の策定（３年間３億円規模：上限100万円を300診療所に配布に連盟が貢献）
●個別指導の半減と、審査内容の改善（連盟活動により、大幅な改善がなされる。昨年165件、今年97件に減少）
●在宅医療地域連携室の新規配置の推進（27年度新規配置10か所を実現）
●県からの休日急患診療所補助金停止に替わる代替案の実現（自民党8020議連所属議員との連携による）
●県議の議員立法により歯科条例完成
●地域医療連携新体制の構築のため柏プロジェクト視察（自民党議連との県歯科保健医療研究会でのプロジェクトチーム活動）
●協会健保と神奈川県歯科医師会本会との健康づくり連携の覚書の実現（連盟による調査をもとに進展）
●神奈川県歯科保健医療推進研究会活動を主導（自民党県議団の力で、県行政内の多数の部課長クラス実務者と勉強会）

県の歯科事業は、地方分権の加速によって、各県独自の事業設計と事業経営が要求される。県行政に対抗する政治力が必要の為、連盟の支援活動が重要。

行政との対応には、行政に精通した県議との連携が不可欠となる。

地方分権化が県歯科医師会に政治力を要求し始めている現在、連盟は常にいつでも本会に協力できるように、組織を整えておく必要がある。

資料）歯科部門　平成15年度～24年度（10年間）の推移

歯科医業収益	−4.9%
保険診療収益	**−9.0%（非常に悪い）**
収益金額合計	−4.7%
歯科医業経費	**+5.8%（かなり深刻）**
損益差額（粗利益）	**−25.8%（最悪）**

医療経済実態調査結果（平成25年）より

この現状を直視して、

会員の経営基盤安定のために
神奈川県歯科医師連盟は
活動しています。

幹事会・DM会合同会議

―高橋日歯連盟会長来会―

平成28年２月18日（木）午後４時30分より歯科医師会館５階「501・502研修室」にて、幹事会・DM会合同会議が行われた。五十嵐副理事長の司会により始まり、森副会長の開会の辞により開会された。富田会長は、「ご参集いただき感謝いたします。新年の集いも一段落し、７月の参院選に向けての動きが開始しました。

さて、昨年末は日歯の次期会長予備選があり、堀憲郎先生が選考され新執行部のメンバー案も決定したようであります。堀先生はまず歯科界の信頼回復を示すために努力するとおっしゃっておられます。何はともあれ、山科会長率いる執行部からしっかりと、そしてスムーズに業務を引き継ぎ、加えて日歯連盟とも手を取り合って、歯科界を前進させるようご努力をいただきたいと思います。

本日は島村大先生の国政報告をいただき、さらに日歯連盟常務会の日程でもありましたが、ご無理を申し上げ、高橋会長にお出ましいただき、時局講演をいただくことができますこと、大変ありがたく、感謝申し上げます。

島村先生のお話、そして高橋会長の講演から、我々の進むべき方向を確認したいと考えております。

ご出席いただきました先生方にも是非地域の会員の先生方に本日のご報告をいただきますようお願いいたします。よろしくお願いします」と挨拶した。

幹事・DM合同会議風景

高橋英登日歯連盟会長は、「日々の連盟活動を支えてくださってありがとうございます。診療報酬改定は今回厳しいかなと思いましたが、国民のために医療費を確保することの大義名分がありますから頑張っています。今回の点数の貼り付けは島村大参議院議員が力を入れてくれたおかげです」と挨拶し、「また、私は組織の代表として起訴されております。我々は顧問弁護士の指導のもと資金を動かしただけです。横領事件を起こしたわけでもなく、贈収賄をしたわけでもないのです。法的解釈の違いですから裁判でしっかり証明していくことが私の直近の仕事です」「神奈川の富田先生に刷新委員会の委員長をお願いして連盟の改革を行っている。お金の流れも会計協議会を通して行うことにしたので明白になっている」「我々はマスコミに対して弱い組織である点を反省し、一般紙に対しての対外広報活動を強めていきたい」と力説した。

説明する高橋英登日歯連盟会長

三原じゅん子参議院議員は、「次期参院選に神奈川選挙区から出馬させていただくことになり、党の公認もいただいたので今まで以上のご支援を賜りたい」と挨拶された。

三原じゅん子議員

石井みどり参議院議員は、「組織代表でありながら身内に足をすくわれたことが残念。顧問弁護士の法理と東京地検の法理が真っ向からぶつかっているので、あとは司法の手にゆだねるしかない。新年会等で、自分たちの代表だから頑張ってくれよといわれて本当にありがたかった。今回の診療報酬改定について文書提供、レントゲン所見に関して強く委員会で言ってきた。誰かを全国比例で応援しなくてはならないなら与党の議員、自民党の議員をお願いします」と述べた。

石井みどり議員

次期参院選において全国区で立候補予定の山田宏前衆議院議員・前杉並区長が挨拶し、「杉並区長として口腔衛生に携わってきた実績、歯の専門家ではないが安倍総理や菅官房長官と連携を取りながら政策を進めていきたい。歯科医師会の皆様にお役に立つことが、日本の医療、日本の将来に役に立つ突破口になると思ってぜひ暴れてみたいと思っております」と話した。

立候補予定の山田宏氏

島村大参議院議員は、「診療報酬改定に際し、萎縮診療にならないよう算定要件緩和を理解して診療していただきたい。文科省に大学教育の質の向上を理解していただくよう政務官を厚労委員会に呼んで質問したところ、文科省の歯科医師が２人体制になった。７月の参議院選挙では選挙区の三原じゅん子さんと比例区の山田宏さんをぜひ応援していただきたい」と述べた。

島村大議員

最後に徳永副会長が「７月の参議院選挙ではよろしくお願いします」と閉会を述べ、散会した。

訃報

久保木 弘 先生（現・本連盟相談役）平成28年４月６日ご逝去
現・西村まさみ神奈川県後援会・幹事長
元・本連盟副理事長（H.11年４月～15年３月）
ここに連盟より、謹んで哀悼の意を表します。

デンタルミーティングINかながわ

平成28年2月18日（木）午後6時より神奈川県歯科医師会館地階「大会議室」にて『デンタルミーティングINかながわ』が開催された。

鶴岡裕亮理事長の司会により始められ、富田篤連盟会長は、「国会開催中にもかかわらず国会議員の先生方はじめ県議の先生にもご参加いただき、感謝申し上げます。

政府・行政そして医療界が目指す「地域包括ケアに向けての医科・歯科連携について」神奈川立病院機構の土屋了介先生をお招きいたし、ご講演頂けること 誠にタイムリーであると思います。県歯本会も鈴木会長を中心に、県行政、県議会のご協力のもと、医科・歯科連携を含めた事業を積極的に計画しているところであります。

ご講演後には島村先生を座長にディスカッションもしていただきます。

いま一度、医科・歯科連携についてしっかり認識するためにお役に立つミーティングになると存じます」と挨拶された。

お忙しいところを駆けつけていただいた高橋英登日本歯科医師連盟会長は「昨年のご迷惑に対してお詫び申し上げます。また、診療報酬改定に際し、財源を確保するのは政治の力ですので政権与党のお力で予算をつけていただいたが、いい医療をするための国民のための予算だということを忘れないでほしい」と述べた。

講演中の土屋了介先生

時局講演として地方独立行政法人　神奈川県立病院機構理事長　土屋了介氏の『地域包括ケアと医科・歯科連携』と題しての講演は、「歯科は入院中から関与していただきたい。高齢化により治す医療から癒し（ケア）が重要になってきた。重粒子線治療により短期間で治療できるようになった。急性期の医療についてご理解いただいてどのようにチームを組んでいけるかということを考えていきたい。理学療法士が病室に出向いてリハビリテーションを行うことが大切であり、地域医療構想による機能分化推進、救急医療体制の整備、24時間全科の支援体制、メディカル・クラスターとして総合的な医療をおこなうこと。病院のPFIは成功しないか。TPPで日本の皆保険は崩れないのか」など多岐にわたり病院の経営側から見た医療制度や医療体制について話された。

座長を務める島村大議員

デンタルミーティングに移り、座長として島村大参議院議員は、歯科医師はどのように関わったらよいか、お聞きしたいと話し、副座長の宮坂宗行県歯連盟副会長は、医科歯科連携を考えるにあたり口腔機能の管理を管理群*と非管理群*に分けた対象群で介入試験すると、歯科医師による専門的な管理による管理群のほうが在院日数を削減する効果があると説明された。

＊【注釈】**非管理群**…従来の主に看護師により行われてきた口腔清拭などの一般的な口腔ケアを受けた群。**管理群**…歯科医師により診査・計画され、歯科医師・歯科衛生士により実施された専門的な口腔機能の管理を受けた群。

土屋先生は、「総合病院は歯科を置いているところもあるが、歯科診療で忙しく医科歯科連携に手が回らない。またコーディネータをおいて連絡を取ることもよいのではないか。病院のトップに連携を意識した姿勢がないとうまく回らない」と述べた。

来賓の石井みどり参議院議員は、病院の看護部門が力を持ちすぎて院長の指揮系統から外れる事例があると話し、それに対し土屋先生は、ガバナンスは看護部門のほうがよいことがあり、医師よりも指揮系統では末端まで話が行き届きやすいことがある、と返した。

コメントする石井みどり議員

訪問看護について小川久仁子県議（川崎市高津区）は、「がんセンターに歯科医師を配置して得られた土屋先生のデータをもとに、県のほうから指示を出してポータブルキットなどに補助金も出ておりますのでそれを有効活用して進めるべき施策だと思う」と述べた。

コメントする小川久仁子県議

高橋日歯連盟会長は、「参議院の政策審議会で70名ほどの議員さんを前に講演したところ、医師である議員さんから、歯科医師を病院に配置する法案が必要だという意見をいただいている」と話した。

最後に、宮坂副座長は、「患者さんのためになる連携の仕組みづくりを一番考えていかなければならない」と締めくくった。

質疑において、神奈川県保健福祉局保健医療部がん対策課の渡邊氏は、「一部で医科歯科連携は進んできているが、医師のほうにより広く連携の重要性を知っていただきたい」と話した。県立がんセンター歯科口腔外科の光永幸代先生は、「医科からの依頼で口腔内を拝見すると口腔ケアのみならず咀嚼の回復という意味の補綴などやらなければならないことがたくさんある。院内で歯科の重要性をアピールしていくことと、先生方のお力をお借りして外からも中からも歯科の必要性をアピールしていくことができれば心強い」と話された。

鴨志田県歯副会長は、「土屋先生の話を聞いて急性期から歯科の関与が必要だと思った。重粒子線治療は口腔がんに有効か」と問うと、土屋先生は限局していれば適用となると答えた。

最後に森洋行副会長が閉会の辞として、講師の土屋了介先生にお礼を述べ、又、我々も医科歯科連携を密に行い医療界を良くしていきたいと述べ、デンタルミーティングは閉会した。

土屋（つちや） 了介（りょうすけ）　氏　プロフィール

【略歴】昭和21年1月生まれ
外科医、医学博士（東京医科大学）
1970年　慶應義塾大学医学部卒
2006年　国立がんセンター中央病院病院長
2014年　地方独立法人神奈川県立病院機構理事長
専門は胸部外科学（とくに進行肺癌の手術）、医学教育の論客としても知られる。

一　灯

４月14日熊本県熊本市、益城町付近で震度７という地震、本震は16日、42名を超える死者。その後留まることのない余震‥被災者の心身の不安　察するに余りある。政府もTPPどころではないはず、米軍のオスプレイも出番があった。熊本県の歯科医師会会員診療所も現在15軒ほど半壊という情報がある。停電、断水では破壊を免れたところも診療はできまい。義歯を紛失したお年寄りも多いはずだ。

神奈川県なら運転をしてくれる方を県が手当てしてくれれば、金太郎号の派遣もできるだろう。一日も早い地震の鎮静と復旧が望まれる。

さて、次期参院選は官邸の要望もあり、会員の周知しない山田宏氏を応援せざるを得ない歯科界。歯科界の30万に近い集票力をどのくらい発揮するかを見極めることも目的にはあろう。山田氏を応援する組織、団体は歯科医師会以外にないという。会員に理解していただき、投票に行っていただけるのか‥まことに厳しい選挙であると考える。しかし、歯科界にとっての得策は自民党本部の意向に沿うことなのであろう。

（文責　富田　篤）

第24回参議院議員通常選挙における推薦候補予定者のお知らせ

☆印は神奈川県歯科医師連盟“重点候補”予定者

神奈川県選挙区	☆三原 じゅん子	自民党公認候補予定者
	三浦 のぶひろ	公明党公認候補予定者
比例区（全国区）	☆山田　　宏	自民党公認候補予定者
	自見 はなこ	自民党公認候補予定者（日本医師連盟推薦候補予定者）
	藤井 もとゆき	自民党公認候補予定者（日本薬剤師連盟推薦候補予定者）

第35回 評議員会のお知らせ

日時　平成28年６月16日（木）午後６時より
場所　神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」